

10人10通りの Logical Thinking を鍛えよう

AIの世界に生きる子どもたちに
テクノロジーに触れながら、真の論理思考を育てる



2020年の小学校でのプログラミング教育必修化の流れにより、ここ数年で、世の中には数多くのプログラミング教育メソッドが乱立するようになりました。ただ、導入のしやすさや指導のしやすさを重視するあまり、「手順書通りに作って、動かすだけ」の教育コンテンツが目立っています。

しかし、プログラミング教育の本来の目的は、「論理的思考」を育てること。

答えのない社会において、「自ら考え、目的に合わせた最適解を自分の力で導く力」を育てることで。

手順書によって決められた、いわば「1つの答え」ありきの教育では、楽しさはあるものの、既存解に依存して受動的になり、本来の目的とは真逆になってしまいます。とはいえ、教育の現場において、「答えのないプログラミング教育」を実践するには、その指針構築と準備に莫大な労力がかかります。

「プログラミング BOOST!」の教育メソッドは、それらを体現するカリキュラムと、指導者への研修、指針としてのティーチャーズガイド等を通じて、現場がより導入しやすいパッケージをご提供しながら、子どもたちが「自ら思考し」「論理的に考え」「自分の答えを見つけ出す」力を育てます。また、その過程で、テクノロジーに触れながら、ハンズオンで手を動かし、モノの原理を知り、物理的思考や創造性、イメージを具現化する力を伸ばします。

アプリケーション開発系

パソコンやスマホ、ウェブ上で動くアプリケーションを開発



ロボット制御系

ハードウェアとしてのロボット製作
+
プログラミングで動作を制御



プログラミング BOOST! とは

マサチューセッツ工科大学 (MIT) メディアラボが開発したプログラミング言語「Scratch(スクラッチ)」を利用したビジュアルプログラミングで、プログラミングの思考を学びます。文法構文的な言語を書くのではなく、直感的なアイコンや指示命令のスクリプトを組み合わせることでプログラミングを組んでいくため、初心者でも取り組みやすく、プログラミング的論理思考を身につけることができます。とはいえ、アニメーションやゲーム制作、機械制御まで、できることは幅広く、奥の深いプログラム言語です。プログラミング BOOST! は、ベーシックからスタンダード、アドバンスとレベルアップ可能なカリキュラムを用意。小学生低学年から中高生まで対応可能です。

ストーリー・構成を創造

想像力
表現力

キャラクター・背景をデザイン

効果的の見せ方を想定

論理力
解決力

具体的動きを論理分解
プログラミングで具現化

Trial and Error
より深く、粘り強い
論理思考を習慣化